

REPORT!

KORIYAMA

～Koriyama Report～ 郡山遺跡かわら版 Vol.1

郡山遺跡かわら版の創刊について

令和8年3月に仙台市教育委員会では郡山遺跡こおりやまの整備基本計画を策定しました。今後、郡山遺跡の本格的な整備に向けて取り組むにあたり、これまで長年この地域にお住まいの方、新しくこの地域にお住まいの方にも、「ひとりでも多くの方に郡山遺跡について知って欲しい」との思いで、“～Koriyama Report～ 郡山遺跡かわら版”を創刊いたしました。定期的に郡山遺跡に関する発掘調査・整備・イベント情報を発信していきます。ぜひ御覧ください。

郡山遺跡とは？

郡山遺跡は昭和54（1979）年に初めての発掘調査が行われ、昭和55年（1980）から継続的に行われた発掘調査によって、数千本もの木材を使用して設置された柵や整然と立ち並ぶ建物の存在、奈良（明日香）の都以外では唯一の石組池いしぐみいけの発見などがあり、今からおよそ1350年前に、これまで全く記録に残されなかった、日本最古級の官衙（役所）や寺院があったことが明らかになりました。この官衙は、724年創建の多賀城以前の国府と考えられており、これまでの調査によって官衙はⅠ期官衙からⅡ期官衙へと建て替えられたことも分かっています。

その重要性から、平成18（2006）年に遺跡の一部は国史跡に指定されています。



郡山遺跡（Ⅱ期官衙）のイメージ

史跡仙台郡山官衙遺跡群整備基本計画

※令和8年3月策定

詳細は仙台市ホームページを御覧ください。

本計画は令和15（2023）年度までの郡山遺跡の整備方針を定めたものです。はじめての発掘調査が行われてから47年、これから本格的な整備に向けて取り組んでいきます。

今回の整備期間では、情報発信のための基盤整備として、土地の造成や遺跡を象徴する石組池や建物跡の平面的な表示、ガイダンス施設の整備等を行っていきます。

計画では“現代の都市と共存する古代国家の壮大な遺跡を市民の宝に”を基本理念に掲げており、単なる史跡公園として整備するだけでなく、日常的な利用や活用もできる整備を行い、“郡山遺跡を「市民の宝に」”の実現を目指していきます。



令和15年までの整備イメージ



発見された「石組池」

⇒石組池は蝦夷えみしの服属の儀礼などに使われたと考えられています。

【こちらもチェック！】

郡山遺跡について
(仙台市ホームページ)



文化財課広報
公式SNS「X」



【お問い合わせ】



仙台市教育委員会 文化財課 整備活用係
TEL：022-214-8893
Mail:kyo019320@city.sendai.jp